

平成29年度通常総会が行われました

6月24日(土)に例年通りなゆた浜北第3練習室にて今年度の通常総会が行われました。

定款の変更、平成29年度の事業計画と予算、平成29・30年度の役員について審議が行われ、すべての議案が提案通り議決されました。

平成29・30年度理事の紹介

代表理事 大場 義貴

副代表理事 佐々木 正和 遠山 秀敏

理事 加藤 寛盛(事務局長) 岸 直樹 榛葉 隆雄 高橋 久美子 平川 悦子 山本 隆広

新理事就任のご挨拶 高橋 久美子

今年度理事になりました。私は、平成21年の事業開始時にE-JANで働くことになりました。何もわからない私が周りの方々に助けをもらいながら、事務局として会計と労務を担当しています。同時にたけのこクラブにも所属し、利用者さんや部員の方々と楽しく活動しています。E-JANに8年間勤めていますが、幅広く事業をやっているE-JANの全体を把握することが難しく、理事になったこの機会に勉強していきたいと思っております。これからもよろしくお願いいたします。



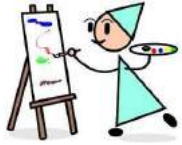
退任・退職のご挨拶 澤木 伸榮

理事としては通算8年間、事務局職員としては13年間、お世話になりました。公務員の仕事を退職し、全くの新世界に入って、それまでの自分の身につけているものは何もないと痛感させられました。そして、自分の認識の甘さや視野の狭さなどを思い知らされました。精神障がい者の方々のことなども何も知らなかった自分を恥じたものです。これまで勤めることができたのもひとえに皆様のおかげと、深く感謝しております。

理事としては、精神保健福祉のことはほとんどわからない私にできることは何もなく、ただただ教わることばかりでした。理事会に出ているおかげでE-JANの全容を把握することができ、精神障がいについてもずいぶん理解することができたと思っております。こんな私を理事として受け入れていただいたことにも感謝です。

事務局では、力不足のため失敗も多々あり皆様にご迷惑をおかけしたことと思っております。でも周囲の方々や他の職員の方々に助けられ、いつも楽しく仕事ことができました。出勤したくないと思ったことは一度もありません。素晴らしい歳月を本当にありがとうございました。

これからもボランティアの立場でE-JANの一員として、障がい者の方々と共に活動していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



2017じゃんだらにい with あ〜とdeい〜ら



じゃんだらニクスを踊りました

6月24日(土)なゆた浜北ホールにて、今年も“精神科利用当事者の世界観を「聴いて」「語って」「見て」感じる会“じゃんだらにい”と、精神科利用当事者の作品展“あ〜とdeい〜ら”が開催されました。今回の発表は、ひだまりのみち、ぴあクリニック、だんだんから利用者さんがスタッフと共に発表してくださいました。

また、今回は新たな取り組みとして、巷で流行っている「エビカニクス」の替え歌で「じゃんだらニクス」を作りました！さらに、会場のみなさんと一緒に振り付けを踊ってもらうなど賑やかな始まりとなりました。そして、第2部の分科会では発表者との意見交換会として、発表に至るまでの経緯や参加者の感想など、たくさんの意見や質問が飛び交っていました。

3つのケースから前向きになれた経緯をまとめました。

ケース1

- ・ 病気のことを理解するまで辛かったが、自分の人生を変えるのは自分と知る。
- ・ 共に生きようと言ってくれる支援者と出会う。
- ・ ひとりじゃないことがわかり、前を向けるようになった。

ケース2

- ・ 自分を助ける方法として、夢を持つ、大好きなものに守ってもらう、温度調節をする、相談すること。

ケース3

- ・ 甘えてもいいよと言われて、いいんだと思えた。
- ・ 不安や大変なことは外へ出す。
- ・ 苦手なことも何とかしようという気持ちが出てきて、話せるようになった。
- ・ 振り返ることによって自分が見え、表現することができるようになった。



分科会の様子

じゃんだらにい

みなさまからの感想

*参加者のアンケートから一部抜粋してご紹介します。

- ☆ インタビュー形式で聞きやすいし、メリハリがあって飽きのこない形式だと思った。
- ☆ ご本人自身の言葉で語って下さっていたことがよかった。
- ☆ いろんな人がいて、いろんな悩みを持っていることがわかった。
- ☆ 泥臭い実話を聞かせていただき感謝。堂々と皆さん話が出来て、分かり易い発表でした。また支援者の聞く力と努力がよくみられて大変参考になりました。
- ☆ 人と関わることで苦しんだり辛かったりしたのち、また人によって自分の力で人を信じられるようになっていったことに感動しました。この場で話して下さりありがとうございます。
- ☆ 参考になった。自分と重なり合うことがあった。
- ☆ 大変な思いをされても自分らしく生きようとしている姿勢と、支援者の皆様のご苦勞に、声援を送りたいと思います。
- ☆ また来年10回目も参加したいです。11回目くらいから企画段階から参加してみたいです。

あ〜とdeい〜ら

- ☆ 絵や刺繍がとても上手だった。感動した。
- ☆ 静かに鑑賞できて、心が洗われた。
- ☆ 作品を出した人のことをもっと知りたいと思った。
- ☆ 作品を出した人同士が会う場所にもなった。



物 販

- ☆ 特に食品関係の売上げが好調だった。
- ☆ 出品事業所の紹介時間を設けたので、自慢の逸品のPRが出来た。
- ☆ 出品のチラシがあるととても分かり易くて、買いたいと思う。
- ☆ 販売しているメンバーも楽しそうに売っていた。



幸せの黄色いレシートキャンペーン 結果報告

毎月11日に「イオン浜松市野店」と「マックスバリュ浜松助信店」で、幸せの黄色いレシートキャンペーン(イエローレシートキャンペーン)が行われています。これは当日買い物をした黄色いレシートを、両店舗のE-JANのキャンペーンボックスへ入れていただくと、後日その1%分がイオンギフトカードになってE-JANへ寄付されるというものです。

各種クレジットカードで購入の場合は、カード番号が印刷されている部分をちぎったレシートでもOKです。またレシートをお持ち帰りになりたい方は、インフォメーションでお買い上げ金額の証明書を発行してもらい、これをボックスへ入れることで参加ができます。

平成28年度(平成28年4月～平成29年2月)実績分のギフトカードを受取り、商品と交換しました。

店 舗 名	E-JAN ボックス総額	ギフトカード金額	交 換 商 品
イオン浜松市野店	3,837,820円	38,400円	ポールハンガー ペットボトルお茶 事務用品 など
マックスバリュ浜松助信店	1,066,255円	10,700円	ペットボトルお茶 日用品 など

これらの商品は、お楽しみサロンや交流会、事務、施設の日常管理のために使わせていただきます。ご協力ありがとうございました。これからもよろしくお願いたします。

あしあと

(このコーナーは4回にわたって、1ル形式で掲載しています。)

～E-JANの歴史③ 2007(平成19)年～2011(平成23)年まで～

E-JAN 事務局長 加藤 寛盛

2007年(平成19年)は任意団体から10年目を迎えます。この少し前から、精神保健福祉法によって精神障害者の「自立と社会参加の援助」ということがうたわれ、福祉の要素が位置付けられました。そして地域では精神障害者の社会復帰等のための福祉が充実、強化されていく過程にありました。また、精神保健福祉士が国家資格化され福祉系大学や専門学校でその養成課程を修了し、国家試験をパスして精神保健福祉士となった20代の若手が地域に続々と輩出されてきていました。その流れの中で、E-JANも当時20代の若手が理事となり、活動の中心を担います。その集大成が10周年記念事業でした。K-MIXホールを借りて、それぞれの様々な人脈や繋がりを駆使し、絵画展やセミナー、講演会など、4日間で600名を超える来場者、参加者がありました。

同じ時期、助成金を用いて若手の仲間数人とひきこもり相談支援事業の前身となる訪問支援を始めます。これがのちに2009(平成21)年7月からの浜松市ひきこもり地域支援センターの一部として事業化し、E-JANはこの時初めて、法人に有給の職員を置くことになりました。事業開始当初は訪問支援だけでしたが、広報はままつにもひきこもり支援の特集が組まれるなど、社会的注目やニーズが高まり、2012(平成24)年4月からは通所も始めて、ひきこもる若者の支援を広く展開していきました。

障害福祉の方では、2006(平成18)年には障害者自立支援法が施行されました。当時、中区にはまだ精神障害を持つ方の相談を得意とする障害者相談支援事業所がないという地域課題があり、10周年事業の勢いそのまま、その解消のために2009(平成21)年10月にE-JANが障害者相談支援事業所ぶらたなすを立ち上げました。

2011(平成23)年6月には、Uホール内に地域若者サポートステーションはままつを開設しました。対象となるのは無業状態にある若者なのですが、その背景には、「甘え」や「さぼり」といった単純なものではなく、様々な経験や能力から、対人関係をうまくつくる力が足りなかったり、発達障害や知的障害が隠れていたり、複雑な要因がありました。医療機関や福祉事業所には現れにくいけれど、精神保健の観点から見た時に、支援が必要な層は地域の中に多くあると実感する事業です。

この2007(平成19)年～2011(平成23)年は、E-JANにとっては最初に訪れた転換期でした。これまで、地域のネットワーク作りや仲間作り、地域に向けて精神保健福祉のことを発信していくところだったE-JANは、ここから職員を配置しながら拡大を続け、様々な事業で直接支援を始めました。

この15年ほどの活動に対して、やがて実を結んでいく出来事がこれから次々と起こります。それは冬号での報告です。



10周年記念事業 会場前の看板



10周年記念事業 絵画展の一作



10周年記念事業が終わってホッとしました



障害者相談の窓口 ～ 後見人制度について ～



春号にも掲載されましたが、今年3月、たけのこくらの勉強会で「親なきあと」についてお話をさせていただく機会がありました。10名位の茶話会みたいなものだったのですが、最終的には30名以上の方が参加を希望され熱心に私の拙い話を聞いてくださいました。皆様のその姿勢を拝見し、この問題への関心の大きさを改めて感じ、真剣にこの問題に取り組んでいかなければいけないという気持ちを強くしました。

「親なきあと」という言葉を初めて聞いた時は、正直ひとの死後を前提としていることであまり良い印象を持ってませんでした。しかし、当事者の方々の気持ちを痛切かつ的確に表現した言葉であると現在は考えております。

「親なきあと」というと「後見人制度」の利用を考える方が多いと思います。勉強会でも「後見人制度」について主に話をさせていただきました。これから社会の高齢化はますます進み、後見人の必要性も増大することが予測されますが、専門職の後見人の数が一気に増えるはずもありませんし、少子化により親族からの後見人を選ぶことも難しくなってきました。知的、精神の障がいを持った方の後見人を確保することは難しくなる一方でしょう。

政府は専門職以外の後見人として「市民後見人」の養成を進めていく方針を打ち出しています。講習を受け、ある一定のレベル以上のスキルを持った市民に後見人になってもらおうという意図ですが、自治体によって取り組み方の熱意も違っていたり、専門職を経験されていない方には精神的にハードルが高いと感じられるのも事実です。

浜松市ではここ1～2年の市民後見人の受任件数はほぼゼロです。これをお読みになって市民後見人に関心を持たれた方は、市民後見人の講座を受けてみるのも良いのではないのでしょうか。ご連絡いただければアドバイスいたします。それでは、続きは次号でお話させていただきます。（ぶらたなす・神谷）



サポステはままつからお知らせ

一緒に踏み出そう 働く一歩

サポステはままつは、働くことに踏み出せない若者たちと向き合い、職業的自立に向けた支援を実施する厚生労働省委託の就労支援機関です。お仕事にお悩みのある方、ぜひサポステまでご連絡ください。

対象

こんな悩みを抱えている
15～39歳までの無業の
若者(学生を除く)やその
ご家族の相談をお受け
します。

- ・自分にあった仕事が見つからない
- ・働きたいけれど何から始めれば良いのか分からない
- ・人間関係でつまづいて仕事が長く続かない
- ・働いた経験が少なく自分に自信が持てない

サポートの流れ

- STEP1 まずはお電話で相談の予約を入れてください
STEP2 相談内容を伺い、登録手続きの面談を実施します
STEP3 個別面談・各種支援プログラムを実施します

キャリアコンサルティング、ソーシャルスキルトレーニング、心理相談
職場見学・職場体験、学び直し、応募書類の書き方、面接の練習 など

STEP4 就職 ☆

プラス

就職された職場での定着支援やキャリアアップに向けた相談支援を行います。

高校中退者の希望に応じて、学校や自宅等へ訪問し、相談を実施することができます。

※サポステはままつ:浜松市中区中央1-13-3 浜松市若者コミュニティサロ内 ☎053-453-8743

たけのこくらぶ報告

「たけのこくらぶ」は、E-JAN 会員の有志でつくっているボランティアグループです。

☆ 交流会 4月16日(日) 14:30~15:30 クラブハウス

今年度の第1回目となる交流会が E-JAN クラブハウスで 4月16日(日)に行われました。今回は「語り合おう！茶話会で」と題して、14時30分から15時30分まで、当事者や家族・たけのこくらぶ部員など様々な参加者同士で日々の生活や仕事の出来事、メンタルヘルスなどについて語り合い、情報共有や互いの親睦を深めました。話しやすいよう6人ずつくらいで3グループに分かれて行いました。私が参加したグループでは、映画やTV番組の話や、仕事での人間関係や体調管理などについての話題が持ちあがりました。「それ知ってる！」と話が盛り上がりたり、日々の生活や仕事の一コマについて想いを共有したりして、常日頃思い詰めやすい私は心のコリが少しほぐれました。次回の第2回交流会も、今回と同様に語り合う茶話会を行う予定です。日時は10月15日(日)14時30分から15時30分で E-JAN クラブハウスで行います。よろしくお願いたします。(山本)

☆ 讃栄寮うたごえタイム 5月21日(日) 14:00~15:30 聖隷厚生園 讃栄寮

5月にしては暑い午後、聖隷厚生園讃栄寮で2回目のうたごえタイムを行いました。施設の食堂に40名ほどの入居者が集まってくださり、オープニングは職員さんの歌と踊りのパフォーマンスに合わせて全員で発声練習を行いました。緊張もほぐれたところで、いよいよ本番。西川裕子先生の爽やかな笑顔と歌声に合わせて、各自に手渡された歌本の中からそれぞれ歌いたい曲をリクエストして全員で合唱しました。前回は参加してくださった方は、慣れたもので歌いたい曲を何曲もリクエストして、職員に「他の人にも譲ってやって」と、たしなめられたりもして大いに盛り上がりました。若い参加者の歌いたい曲が歌本になかった時は、西川先生が即興で対応してくださり、幅広い年齢層の参加者全員が楽しむことができたと思います。入所者、職員そして私たちも、共に1時間半歌い笑いうっすら汗をかき、楽しい時間を共有してストレス発散もできたのではないかと思います。

「今度来てくれた時には僕のギター演奏も聴いてくれ。」と帰り際に声をかけてくださった参加者の方の笑顔が印象的でした。来年2月にはカラオケ大会が行われるそうなので、その前にまたお邪魔して出場者の方々の練習の場になったらいいなと思います。(鈴木喬子)

☆ お楽しみサロン(直虎ゆかりの地を巡る旅) 5月28日(日) 9:30~16:00 井伊谷



皆さま、今年のNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」を楽しまれておいでですか？ 私たち「たけのこくらぶ」のメンバーにもはまっている者がいて、5月28日のサロン活動では「直虎ゆかりの地巡り」を行いました。

西鹿島駅9:56発の天竜浜名湖鉄道で気賀に向かい、先ず「大河ドラマ館」へ。そこで一寸したハプニングが。なんと私たちが到着する数分前に、あの政次さま(高橋一生さん)が来館されていたのでした。政次さまファンがじだんだ踏んで悔しがったことは言うまでもありません。

その後気賀の関所へ、午後はバスで龍潭寺前まで行き、約2時間強のパワースポットめぐり「こんな機会でもないと思ったに体験できない散策」に出発しました。歴史文化研究会ボラン

ティアの方に案内をお願いし、天白磐座遺跡、井伊谷城址の麓、タブノキ茂る井殿の塚、井伊氏居館に残る石垣。南下して井伊共保出生の井戸を見学しました。散策の終盤は初夏の日差しにもうたくたでしたが、益々大河ドラマが見逃せなくなった散策となりました。 ※天白磐座遺跡…てんぱくいわくらしいせき (金子)

☆ 出張バザー 6月7日(水) 13:00~14:00 地域活動支援センターだんだん

出張バザーへ初めて参加しました。

事前に集まって品物の整理と値段付けを行いました。いくらくらいだったら買っていただけるか相談しながら、品物の状態を確認するとともに衣類や雑貨、日用品等に分別をしました。

当日は搬入の途中から雨が降り出してしまいうあいにくの天気でしたが、お客様に喜んでいただきたい一心で何度も車と会場を往復しました。見やすさと品物のよさをアピールするディスプレイにもこだわりました。

お客様のお昼休みを利用したバザーでしたが、多くの方に集まっていた盛況に終えることができました。

お客様とのふれあいが楽しく、また参加したいと思う出張バザーでした。(大谷)



☆ お楽しみサロン(歌声タイム) 7月23日(日) 13:00~15:00 クラブハウス



毎年の恒例となっているこの”歌声タイム”、今年は11人の参加者で行われました。

最初に筋肉を伸ばす体操と笑いヨガを行い、みんなの体と気持ちがほぐれたところで、全員が順番に自己紹介し、歌いたい曲名を披露してみんなで一緒に歌いました。一回りした後は自由にリクエストします。世代によっては知らない歌もあり、新鮮に感じた人もいたことと思います。また、初めての参加者も最初は不安そうでしたが、次第に温かい雰囲気の中で、一緒に声を出していました。

西川裕子先生のリードと伴奏のおかげで、うろ覚えだった旋律も思い出し、楽しく歌うことができました。男女混声だと全体の歌声に厚みが出ます。歌いながら聴いていると、男性陣の声が素晴らしく、その厚みにゾクゾクしました。

大きな声で歌って爽快な気分になったところで、皆さんニコニコと帰路につきました。(N・S)



職員紹介

E-JAN 事務局事務員 大谷 淳子 (おおたに じゅんこ)

小中学校事務職員として40年余りを過ごし、本年3月31日にめでたく?定年退職をして、E-JANの仲間に入れていただきました。

精神保健福祉もNPOも初めての世界です。

会員みなさまにはご迷惑をおかけすることが多いと思います。見かねたらこっそり教えてください。

週3日赤電で出勤していますが、いつも想定外の事件(お仕事)がわたしを待ち受けていて、「ええ~!?!」っという日々です。

趣味はマラソンです。フルマラソン完走を目標に週末に練習しています。





9月	3日(日)	お楽しみサロン(手芸)	13:00～15:00	クラブハウス
	11日(月)	イエローレシートキャンペーンの日	終日	イオン浜松市野店 マックスバリュ浜松助信店
10月	11日(水)	イエローレシートキャンペーンの日	終日	イオン浜松市野店 マックスバリュ浜松助信店
	15日(日)	交流会(茶話会)	14:30～15:30	クラブハウス
11月	11日(土)	イエローレシートキャンペーンの日	終日	イオン浜松市野店 マックスバリュ浜松助信店
	12日(日)	浜北ふれあい広場(バザー出店)	10:00～14:00	グリーンアリーナ
	26日(日)	お楽しみサロン(食育と料理教室)	未定	クラブハウス
12月	11日(月)	イエローレシートキャンペーンの日	終日	イオン浜松市野店 マックスバリュ浜松助信店

☆ 行事の詳細については事務局までお問い合わせください。



事務局より

会員のみなさま～ 会費の納入をお忘れなく

E-JAN 会費の納入につきましては、いつもご協力いただきありがとうございます。

E-JAN の活動は、国や浜松市からの委託事業を除くすべてを会費と寄付金でまかなっています。じゃんだらにいなどの啓発事業、サロン活動や交流会、その他事務や施設用消耗品などなど…。会員のみなさまの尊いお気持ちを大切に、有意義に使わせていただくよう、常に心がけています。どうぞご理解のうえ、会費の納入にご協力いただけますよう、お願いいたします。

振込用紙をなくされた方には再度お送りしますので、ご遠慮なくお申し付けください。よろしくお祈りいたします。

寄付も受け付けています

寄付行為はボランティアの一環にもなります。

会員であってもなくても、E-JAN にご寄付くださった方は税制上の優遇措置が受けられます。ご連絡いただけましたら、振込用紙(振込手数料無料)をお送りいたします。みなさまの温かいご寄付をお待ちしております。

《 事務局 TEL 053-461-6045 メール info@npo-e-jan.com 》

～編集後記～

- ・ 厳しい暑さが続いておりますが、いかがお過ごしですか。今回の「じゃんだらにいwithあ～とdelい～ら」では、にわか記者になり取材させていただきました。その様子を記事として皆様にお届けします。ご参加出来た方も出来なかった方も紙面で楽しんでいただければ幸いです。(山)
- ・ 今年度も E-JAN 通信の編集委員となりました大畑です。よろしくお祈りします！さて、今年の夏はスーパー猛暑らしいですね。毎年暑い暑いと言われてますが、今年は“スーパー”が付くほどか…と若干びびっています(笑)また、私は自転車通勤なので紫外線対策に必死です。みなさんも、紫外線と熱中症にはお気をつけくださいね。(大畑)
- ・ 今年度、高橋さんと大谷さんの2名の編集委員が加わっていただきました。頼もしいです。とても頑張っていたいただいたおかげで無事に発行されています。感謝。(杉浦)
- ・ E-JAN に関わって初めての編集委員。こういった作業は余裕があると楽しみですが、忙しい時期と重なりばたばたでした汗。次回は楽しみながらやりたいです。(高橋)
- ・ はじめての通信編集、大変でした。次号も頑張ります。(大谷)